1　請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、4,820件（214種類）であり、このうち特に件数の多かったものは、「小規模通所授産施設制度における格差是正を始めとする成人期障害者施策の拡充に関する請願」249件、「医療費に対する患者負担の引上げ中止等に関する請願」217件、「牛海綿状脳症（ＢＳＥ）対策のための緊急措置法の制定に関する請願」212件、「患者負担増に反対し、医療制度を抜本的に改革することに関する請願」159件などであった。また、有事法制関連三法案に関連した請願は10種類219件が紹介提出された。

各委員会への付託件数は、内閣208件、総務52件、法務249件、外交防衛337件、財政金融259件、文教科学159件、厚生労働2,962件、農林水産245件、経済産業33件、国土交通278件、環境18件、沖縄・北方１件、倫理選挙19件であった。

請願者の総数は2,366万0,889人に上っている。

請願書の紹介提出期限については、当初６月５日の議院運営委員会理事会において会期終了日の７日前の同月12日までと決定されたが、19日の衆・本会議において42日間の会期延長が議決されたため、翌20日から受理を再開した。延長後の紹介提出期限については、７月17日の議院運営委員会理事会において会期終了日の７日前の同月24日までと決定された。

７月31日、各委員会において請願の審査が行われ、６委員会において630件（18種類）の請願が採択すべきものと決定された。このうち「商業捕鯨の早期再開等に関する請願」４件は多数をもって採択すべきものと決定された。次いで同日の本会議において「商業捕鯨の早期再開等に関する請願」外629件が採択され、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律第十九条の改正に関する請願」125件を除く505件を、即日内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は、13.1%であり、また、種類別の採択率（採択数／付託数）は、8.4%であった。